

第2章 目標の検証とフィードバック

対策目標値との検証は、対策の実施（営農対策＋土木対策）に基づいた流域状況の改善をUSLE式によって算出し、目標値の達成度を検証し、未達成の対策を推進することとする。また、目標値達成後も、海域及び水域の改善が確認できない場合には、再度削減目標を策定し、地域が一体となって継続して実現可能な赤土等流出対策を行う。

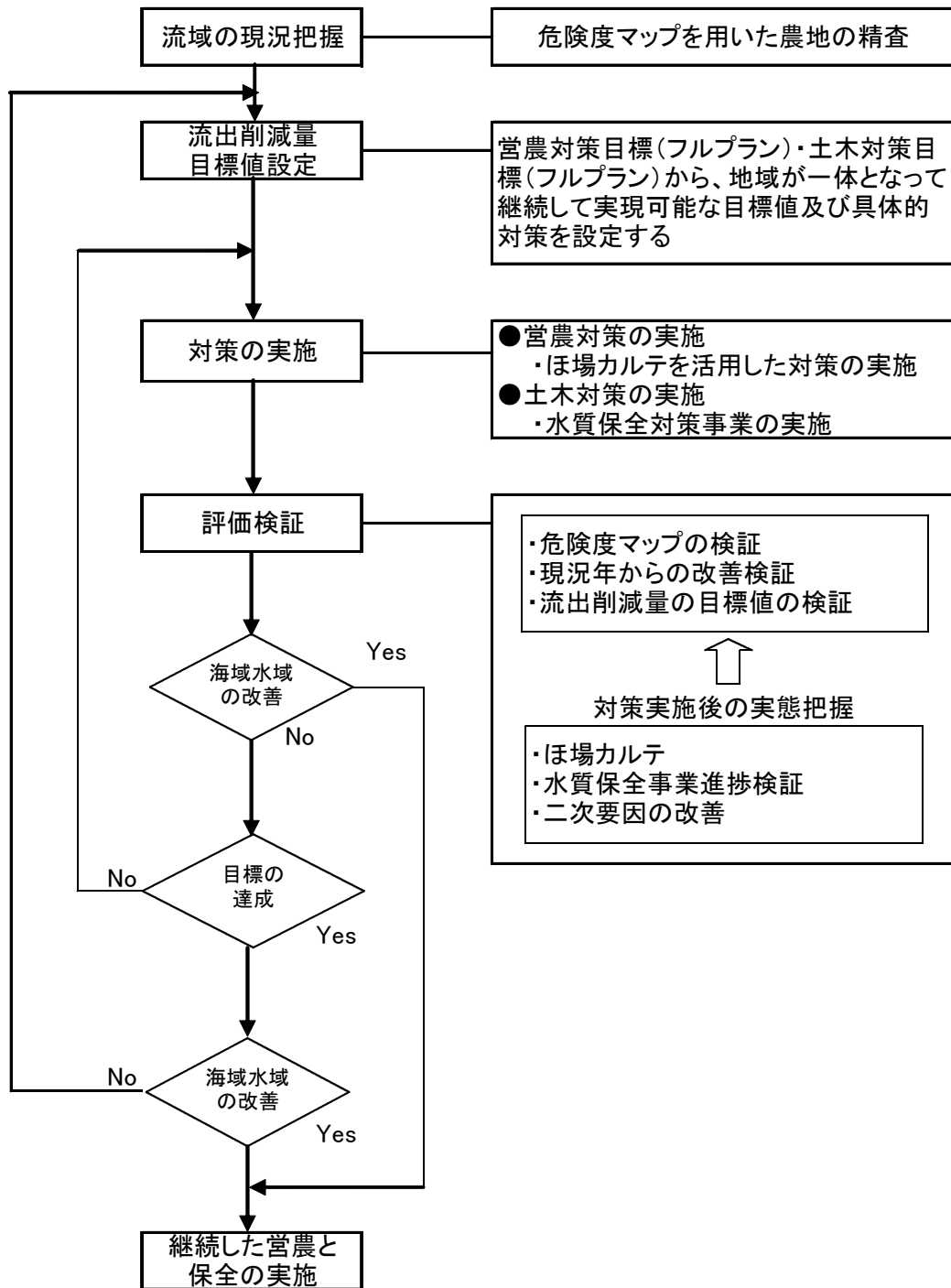


図4-2 流域対策目標値の評価・検証とフィードバック